



「中小企業は『働き方改革』でSDGsに取り組む」

● 中小企業のSDGsの取り組み状況

①	SDGsについてまったく知らない	85%
②	SDGsを理解したあとの印象で否定的なもの	44%
③	SDGsに前向きだが何をすることがわからない	14.3%
④	すでに取り組んでいるものである	3.5%

従業員300人以下500社を対象とした中小企業のSDGs認知度・実態等調査結果(関東経済産業局2018年10月調査)より

● SDGsに関連する働き方改革の取り組み

働き方改革の取り組み	SDGsの目標
① 育児・介護休業法の改正	⑤ジェンダー平等を実現しよう
② 同一労働同一賃金への対応	⑧働きがいも経済成長も
③ 時間外労働の上限規制	③すべての人に健康と福祉を

● SDGsの実践につながる労働環境の整備

①	すべての従業員に健康診断を受診させる
②	組織として、学校教育へ協力する等の社会貢献
③	定年制度を設けていない、70歳以上の就労が可能
④	会議の資料等、ペーパーレス化に取り組む

① 中小企業のSDGs浸透具合

中小企業のSDGs認知度・実態等調査結果(関東経済産業局2018年10月調査)によると、「国連が採択したものであり、自社には関係ない」(23.1%)「大企業が取り組むものであり、自社には関係ない」(12.7%)と、35%が消極的でした。

また、「何から取り組んでいいかわからない」「取り組む余裕がない」が半数以上あり、肯定的に受け止めながらも行動に移せていない状況であることがわかります。

では、どのようにすれば、中小企業でも簡単にSDGsに取り組むことができるのでしょうか。

② 「働き方改革」はSDGsそのもの

残業時間の上限規制の導入、年次有給休暇の年5日間の取得など制限規制が「働き方改革」と捉える向きもありますが、その目的は人口減少局面におけるなかで、すべての人が活躍できる場を、企業が中心となり社会全体で実現していこうというものです。これは「世の中の誰一人取り残さない」というSDGsの精神と一致するものです。

例えば、「同一労働同一賃金」は、SDGsの「働きがいも経済成長も」に該当します。

③ 「働き方改革」から始めるSDGs

このように「働き方改革」はSDGsとつながることが多くありますので、何に取り組んでよいかかわからない、と悩んでいる方は、まずは「働き方改革」に取り組んでみてはいかがでしょうか。

例えば、パート有期契約社員の労働条件を検討する、業務改善を行うなどは、すぐに取り組める働き方改革であり、SDGsともいえます。

参照:「社長のためのSDGs実践経営」(マネジメント社)岡春庭 中島達朗 岡真裕美

事務所日誌

● 4月の事務所の活動

- 15日 外国人技能実習生向けの法的保護講習の講師
- 19日 外国人技能実習生向けの法的保護講習の講師
- 19日 オンライン早朝読書会「いばら朝喝同好会」に参加
- 20日 企業研修「SDGs経営と実力発揮組織づくり」講師
- 26日 オンラインにてゆうかつ(読書会)に参加



■ 編集好奇

▼先日、一年ぶりに三男の保育園時代の友達と公園で遊びました。子どもたちみんな成長がみられ、親同士もお話ができ、春の陽気のもと楽しめました。あまりにはしゃぎ過ぎて、翌日ちょっと疲れました(^;) (YS)

事務所ご利用の感想をご紹介します

● 事務所をご利用いただいたの感想をご紹介します

ご利用をありがとうございます。放課後等デイサービスをされている「合同会社TAKIBI ホハル美川」さまよりご感想をいただきました。

「いつも親身になって相談に応じてくださり、誠に感謝しております。

分からないことを、懇切丁寧にご教授くださるので、大変勉強になります。

せのお事務所さんに出会えて本当によかったです。今後とも、よろしくお願いいたします。」

